

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
市議会事務局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	405	402	3

※職員給与費を除く

2 主要施策

北九州市議会は、地方自治制度における二元代表制の一翼を担っており、執行機関とは独立・対等の立場で、議案等の審議・審査により北九州市の意思決定を行うとともに、市長や執行機関を適切に監視・評価を行い、市政の課題に対する政策提言を行う等の役割を有している。

そのような中、社会経済情勢の変化に的確に対応し、市民の負託に応えるため、令和7年10月に「議会運営」「議員」「議事堂」「市議会事務局」それぞれの課題と対応策をまとめた「北九州市議会改革方針」を定めた。

今後とも、改革方針に基づき、議会運営委員会や議会改革協議会等による協議を積極的に進め、市民との協働による開かれた議会の実現を図り、市民の福祉の増進及び市政の発展に寄与していく。

市議会事務局としても、議会活動を支援し、効果的かつ円滑な議会運営の確保に努める。

1 市民に開かれた議会の実現

35百万円

市民が市議会に関心を深めることができるように、本会議や委員会のインターネット配信など、議会広報を引き続き充実させていくとともに、効果的な議会広報を企画立案する会派の枠を超えた「広報チーム」の設置、「議長定例記者会見」の中継及び配信、「主権者教育」の推進などに取り組み、広報活動を強化する。

市議会広報活動強化事業

市議会だより・市議会中継配信事業

市議会中継システム更新事業



2 議会の機能強化

261百万円

人口減少や急速に進む少子・高齢化、デジタル社会への対応など、社会経済情勢の変化を踏まえ、市政の課題について調査・研究し、政策立案及び政策提言を行うための環境整備など、議会の機能強化を図る。

議場モニターの新設

市議会政策立案の支援

市議会タブレット端末の運用



<議場モニターのイメージ>

3 主な事業

新規・市議会広報活動強化事業

124万円

市民に開かれた議会の実現に向けて、会派の枠を超えた「広報チーム」を設置するほか、「議長定例記者会見」の中継及び配信、「主権者教育」の推進などに取り組み、市議会の広報活動を強化する。

○「広報チーム」の設置

開かれた議会を実現するため、議会広報について、一体的、効果的かつタイムリーに提案等を行う、会派の枠を超えた議員で構成される「広報チーム」を設置する。



○「議長定例記者会見」の中継及び配信

議会情報の発信を強化するため、市議会定例会閉会日に、議論の振り返りやトピックス等について、議長による記者会見を行う。



○「主権者教育」の推進

若い世代が政治を身近に感じ、地方議会への理解と関心を深めてもらうことにより、自ら考え、判断し、地域や社会で行動していく主権者を育成するため、議員と学生との意見交換会などの事業を行う。



新規・議場モニター新設事業

447万円

市議会と執行機関との議論を傍聴者に分かりやすくするため、本会議での発言内容の字幕表示や議場配布資料の表示などを行う大型モニターを議場に設置する。

【問合せ先】
市議会事務局 総務課
原田(課長)、生島(係長)
電話 093-582-2621